



学校だより



2020年6月26日
横浜市立港南台第一小学校

7月号

Email y3konan1@edu.city.yokohama.jp Tel 832-0210 Fax 832-7771
URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kohnandail/>

雨の降る日には

副校長 和田 みずほ

雨の中、紫陽花が揺れています。咲き始めたころは、はねず色だったのに、だんだん色が濃くなってきました。休校中、先生たちが植えたトマトやキュウリが実り始め、ゴーヤはぐんぐん背伸びをしています。1年生の朝顔もつるを伸ばし始めました。いつもの年と変わらない校庭の風景です。

いつもの年と違うのは、プールから歓声が聞こえないこと。朝の慌ただしい時間の健康観察もきっとひと手間かかる作業でしょう。ご家庭のご協力に感謝しています。また、毎朝、登校を見守ってくださっている学援隊や保護者の皆様、本当にありがとうございます。お陰様で子どもたちの学校生活が少しずつ軌道に乗り始めています。新しい友達ができた子どももいます。ゆっくり気の合う友達を探している途中の子どももいます。そこで、今月は、図書室の本から、「ともだち」「なかま」が出てくる本を紹介します。



「えー、ともだちやです。ともだちは いりませんか。ともだち いちじかん ひやくえん。」とキツネは言います。さて、お客さんは来るのでしょうか。



「ぐりとぐら」
なかがわりえこ おおむらゆいこ
福音館書店

のねずみの兄弟ぐりとぐらのすきなことは、お礼をすることとたべることです。二人は、森の中で大きなたまごを見つけます。森のなかまとのゆたかな時間のはじまりです。



「ともだちや」
内田麟太郎 作・降矢なな 絵
偕成社

「ほくの、ひかり色の絵の具」
西村すぐり 作 大野八生 絵
ポプラ社

主人公は、自分の気持ちを言葉にして伝えるのが苦手なユク。時間をかけて本当の友達を作っていきます。

本の力を借りて、子どもたちの心に、ちえの種、ともだちの種、元気の種、まちの種、ゆめの種を蒔いていきたいと思ひます。本の世界では、旅や冒険をしたり、自分とは違う立場の人になれたりすることができます。新しいことを知ることができたり、知っていると思っていることの違う面に気付いたりすることもあるでしょう。たくさんの人によって時間をかけて作られ、多くの子どもたちに読み継がれてきた本には心や言葉を育てる力があります。雨の降る日には、外出できないことを嘆くのではなく、本を読んでくれたらいいと思ひます。

今年度は、新型コロナウイルス感染防止のため、例年通りに進められないことが多くなります。新しい形を探しながら、今年度なりの方法で子どもたちを育てていきます。どうぞ、よろしくお願ひします。